セミナーID 100501

JMA マネジメントスクール

技術の標準化・モジュール化で勝てるしくみを構築する

モジュール設計構築活用セミナー

～激変する顧客ニーズを低コストで実現する～

会　期
各回2日間とも 10:00～17:00
2020年　6月11日(木)～　6月12日(金)
2021年　1月28日(木)～　1月29日(金)

会　場
日本能率協会 研修室
（東京都 港区 芝公園）

参加対象
- 設計部門、開発技術部門で設計のモジュール化、部品の標準化を目指している方
- 設計や生産の効率化を図り、新たな開発・設計に向けての創造的時間を捻出したい方

講　師
大塚 泰雄
JMA専任講師
㈱MEマネジメントサービス 常務取締役

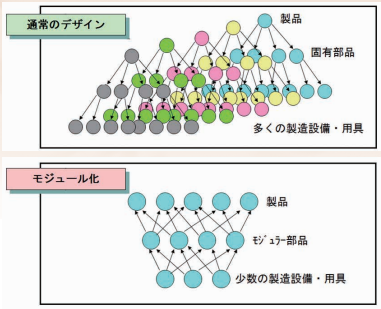
本セミナーのねらい

マス･カスタマイゼーションは顧客に満足度の高い商品を提供する大量生産と受注生産を両立させる概念であり、それを実現するには設計のモジュール化が必須です。

本セミナーではモジュール設計の意義と役割を明確にし、小手先の部品の標準化･共通化に終わらせないモジュール設計のポイントを学びます。部品の共通化に至るモジュール設計の手順を具体的事例を交えて解説するとともに、製品生産効率化に結びつくモジュール設計の役割についても解説します。

多様化する顧客ニーズを実現するだけでなく、設計や生産効率化による新たな開発に向けての創造的時間の確保に寄与するモジュール設計のポイントを学習することをねらいとしています。

【従来設計からモジュール設計へ】



プログラム

10:00～17:00 (昼休憩 12:30～13:30)

1日目

第1章 マス・カスタマイゼーションとは何か
― 大量生産と受注生産を両立する ―
- 1-1 マス・カスタム化とは
- 1-2 市場の変化とコモディティ化回避戦略
- 1-3 新興市場ではリバース設計で商品開発
- 1-4 ハードからソフトへの付加価値追求

第2章 モジュール設計の意義と役割
― モジュール化の目的を明確にする ―
- 2-1 標準化の意義と役割
- 2-2 モジュール化の目指すところ
- 2-3 日本のECM(Engineering Chain Management)の課題
- 2-4 モジュール設計の概念
- 2-5 モジュール化の設計思想のポジショニング

第3章 製品体系からアプローチするモジュール設計
― 効率的な製品の品ぞろえを追求する ―
- 3-1 モジュール設計を見える化する管理指標とは
- 3-2 事前に行うモジュール設計の可能性分析
- 3-3 製品モデルの確立
- 3-4 商品仕様構成と製品ラインアップ表の明確化
- 3-5 プロダクト・ミックスの確立
- 3-6 モジュール化の進展

第4章 製品仕様のレンジ化・系列化
― レンジ化には等比・等差数列を適用する ―
- 4-1 製品群の類似性分析
- 4-2 種類を抑制するモジュール数(標準数)とは何か
- 4-3 レンジ化への標準数の適用
- 4-4 レンジ化・系列化の検討
- 4-5 モジュール設計の最適コストシミュレーション

2日目

第5章 組合せを考慮するユニットのモジュール化
― 効率的な6つのモジュール化方式 ―
- 5-1 6つのモジュール化方式
- 5-2 ユニット構成の固定変動分析
- 5-3 モジュール化とDSM(Design Structure Matrix)
- 5-4 コストから見たユニットの最適組合せ
- 5-5 設計手順書作成過程でのモジュール化

第6章 部品特性を追求した部品の共通化
― 部品を部品標準化・共通化・統合化の3つに分類 ―
- 6-1 部品構成の変動要因分析
- 6-2 部品少数化の方法
- 6-3 共通化の方向性の決定
- 6-4 モジュール設計におけるVEの役割
- 6-5 機能VEの進め方

第7章 モジュール設計の手順(ソフト紹介)
― 系統立てたモジュール設計の進め方 ―
- Step1 PQ分析にてC群生産数0のルール決め
- Step2 製品群の類似性分析
- Step3 製品群のMD・PMD指数算定
- Step4 製品仕様・システム構成の確立
- Step5 レンジ化：製品仕様
- Step6 モジュール化：ユニット構造
- Step7 共通化：部品構造
- Step8 モジュール設計の方向性決定

第8章 生産効率化に結びつくモジュール設計の役割
―モジュール設計を生産効率化で刈り取る―
- 8-1 組立しやすい設計の条件
- 8-2 加工しやすい設計の条件
- 8-3 モジュラーデザインから生産モジュール化へつなぐ
- 8-4 部品構造と組立工程のバラエティ分析

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

モジュール設計構築活用セミナー

講師紹介（敬称略）



大塚 泰雄　JMA専任講師
㈱MEマネジメントサービス 常務取締役

【略 歴】大手工作機械メーカーに11年勤務。開発･設計、製造、営業技術などを経験。主に企業では、開発設計段階のVE改善、モジュラーデザイン、部品の標準化と開発費の低減、工場レイアウト･現場の作業改善(ＩＥ)を通じて総合的コストダウンを展開し、企業の実績を改革するコンサルティング業務が活動の中心である。その他、公開セミナー、社内教育などの活動も行う。

【著 書】『技術者のための原価企画』『理想原価への挑戦』『実践原価企画』『よくわかる金型の原価管理とコストダウン』『見える化でわかるムダつぶしコストダウン』『トコトンやさしい原価管理の本』 他多数

参加者の声

- モジュール化はしにくいと何となく思っていたが、設計に優先をつけることで筋道が見えたように思います。
- 構造と工程のバラエティ分析は、わかりやすく可視化されるため、自社でもやってみようと思いました。
- モジュール化の一連の流れを知ることができ、今まであいまいだったことがはっきりしました。
- 現状分析と見える化の手法が参考になりました。

関連するおすすめセミナーのご案内

- ■ 効率化とコストダウンを両立する 開発設計の考え方セミナー　セミナーID 100392
- ■ マス･カスタム生産方式の構築　セミナーID 100390
- ■ 設計品質向上基礎セミナー　セミナーID 100298

お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

1 パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) JMA 100501 で検索

もしくは、**https://school.jma.or.jp/**

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合せください。
TEL：03(3434)6271

2 スマートフォン
タブレットから

参加料（消費税抜）

一般社団法人 日本能率協会法人会員	100,000円/1名
上 記 会 員 外	110,000円/1名

※テキスト(資料)費・昼食費が含まれております。
※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※**参加申込規定**は**JMAマネジメントスクール**のWebページ(https://school.jma.or.jp/)に掲載しておりますのでご確認、ご同意のうえお申込みください。

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください。
開催7日前(開催初日を含まず起算)～前々日……参加料の30%
開催前日および当日……参加料全額
(万一キャンセルの場合は必ずメールまたはファックスでご連絡ください。)

会場案内 会場地図は、参加証送付時にご案内いたします。

日本能率協会 研修室
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

申込に関する問い合せ先（参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容）

JMAマネジメントスクール　TEL：03(3434)6271
電話受付時間　月～金曜日9:00～17:00　ただし祝日を除く
E-mail：seminar@jma.or.jp　FAX：03(3434)5505

プログラム内容に関する問い合せ先（企画担当）

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22　TEL：03(3434)1410(直通)

参加定員 30名（10名に満たない場合は、中止または延期することがあります。）



これから求められる経営モデルの提唱

KAIKA
未開拓領域を花開かせる

KAIKA Awardsは、全社的な変革運動、経営理念を体現する人づくり、ダイバーシティ経営、新しいチャレンジを進めるプロジェクトなど、人･組織の力を結集する様々な取り組みを対象にした表彰制度です。

会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。
詳細は
https://www.jma.or.jp/membership/

日本の経営革新
×
学びと成長



日本能率協会（JMA）は、企業経営の要である「ひと」の力を最大にすることを通じ、新たな経営・組織づくりに貢献します。
社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラム、役職別の能力開発研修、人事・教育、マーケティング、営業、開発・設計・技術、生産、購買・調達など専門領域のスキルアップ研修など年間2,000本以上の公開型研修を開催しています。また、企業・自治体・学校に向け、個別課題解決支援も行っています。

JMAが選ばれ続ける4つの理由

1 現場課題に合わせたプログラム内容
2 実践力のつく演習･ディスカッション
3 研修結果を継続させる仕組み
4 多様な業界、業種と交流